

視覚障害教育は静かな環境で耳や指先そして限られた視力を使用して学んでいく教育です。そのため幼児児童生徒の教育は、専門性豊かな教員等により、少人数できめ細かく丁寧な指導が必要です。一層視覚障害教育の専門性が確保され、一人一人の視覚障害幼児児童生徒のニーズに沿った教育が行われるよう要望いたします。

1. 視覚障害・他障害と併せた重複障害を配慮した特別支援学校の環境整備について

- ・特別支援学校としてセンター機能の役割が付加されていますが、盲・視覚特別支援学校（以下盲学校）は校区の広い学校です。地域への支援、そして校内の指導と手厚く支援していくには、特別支援教育コーディネーターの複数専任配置が必要です。早急な配置を強く要望します。
- ・視覚障害教育専門に特化した盲学校を今後とも各都道府県に継続設置願います。地域によってやむを得ず盲学校と他障害種別を併せた特別支援学校になる場合は、障害種によって、個々の児童生徒の実態や指導の有り様が違います。必ず視覚障害教育部門を設置して、校舎等の分離等適切な学習環境の整備保障を要望いたします。
- ・視覚障害と他障害を併せた多様な幼児児童生徒が在籍し、医療的ケアを要する児童生徒もいます。看護師等の人的配置及び校舎等の障害のバリアフリーを進め、エレベーターやスロープなど教育環境の整備をお願いいたします。
- ・視覚障害は早期からの教育相談・支援体制が極めて重要です。0歳からの早期教育相談にかかわる専門教員確保や支援体制整備予算を充実してください。また、視覚障害の早期教育は学齢期学習の基礎となるもので、空間認知、歩行、点字などを学ぶために必須です。盲学校に幼稚部を設置していない県に対して設置を働きかけてください。

2. 教員の専門性の確保について

- ・視覚障害教育の高い専門性をもった教員配置や、年限等での画一的異動でない適材適所の配置等が実現されるよう、校長の具申尊重を各教育委員会に指導願います。
特に経験ある視覚障害教育の専門性高い教員配置や、人事異動については盲学校専門性確保の観点から校長具申を尊重されるよう各教育委員会に指導願います。
- ・視能訓練士や歩行指導士等の専門家の導入や盲学校自立活動教諭有資格者の配置を義務づけてください。
- ・視覚障害と他障害を併せ持つ多様な児童生徒のためにPT、OT、ST等の専門家を巡回指導で盲学校にもできるように財源措置をしてください。

3. 職業教育の充実について

- ・社会参加と自立に向けた職業教育の充実が盲学校の重要な課題です。
- ・専攻科に「理療研修科」等の設置で時代の推移・要請に応じた専門教育や、リカレント教育の充実を願います。またヘルスキーパー等について、行政関係機関や民間企業等への理解啓発を図り、一層の雇用促進を積極的にお願いたします。
- ・三療以外の一般就職を目指す生徒や福祉施設等の入所生徒のため必要な学科の設置や新たな職業開発の推進を願います。

* 「障害者の権利に関する条約」締結においても、盲学校、特別支援学校は必要です。

* 特別支援教育就学奨励費制度を今後とも堅持継続し更に充実させてください。